

価値主導型を改善する道徳教育内容の開発と実践

－1年間の生活費の計算は児童を感謝に導きうるか－

久保田 雄太 (M19EP014)

1. はじめに－本稿の課題と方法－

本稿は、価値主導型を改善する道徳教育内容の開発と実践について報告する。その内容は、教科書の情報で授業をするという広く見られる道徳教育を対象視して、新たな情報の収集と考察を通して開発されている。

(1) 価値主導型道徳の改善

まず筆者の経験を振り返ることから、課題設定の理由を述べてみよう。道徳の授業では、児童の教科書に指導する内容項目の価値が教科書に書かれていたり、教師がテーマを板書したりすることがある。多くの児童はこれらを見て「この“テーマ”に沿った発言をすればよいのだな」、「先生は〇〇を求めているんだな」と予想し、その“価値の眼鏡”で教材を読み取り、考え発言することになる。これでは、自分の本心とは別に「思考」し、本音ではなく建前のきれいごとを言うだけの時間になってしまったりはしないだろうか。本心に近いところで価値を捉えた上で、課題を自分事として捉え、考え話し合い、振り返らなければいくら“いいこと”を言っても、その後の生き方や生活に生かされることはないだろう。このような授業は、結果として価値を主導し押し付けていることになると思う。

こうした課題を改善するために、道徳の教育内容の開発と実践を行った。実践したプランの内容は、教師が「感謝」という言葉を一切使わず、5年生1人あたりの生活費やその金額を稼ぐためには、何時間・何日かかるかの計算をすることによって、児童がいかに「感謝」の気持ちを実感できるかを目的としている。実践の成果と課題については、授業記録と事前・事後質問によって報告する。

(2) 先行研究における本稿の位置づけ

次に、内容項目「B 感謝」に関する先行実践を考察して、本実践との質的相違について述べてみよう。菊池 (2017) は、中学校1学年を対象に道徳の時間を要に、学級活動・総合的な学習の時間を関連させて計画を立てている。本時では、資料を読んで「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」のそれぞれの立場に立って、どうしたらいじめがなくなるか考えさせている。今井 (2011) は、小学校6学年を対象に「家族愛」の関連価値として「尊敬・感謝」を扱った授業を実践している。資料を読み、初めて来ると約束していた父が運動会に急遽来られなくなってしまい腹を立てる娘とその父の気持ちを考えさせる内容になっている。高木 (2011) も小学校4年生を対象に、「郷土愛」の関連価値として「尊敬・感謝」を扱った授業を実践している。土手に桜を植えて、大水から村を守った先人の話から、「反対する村人についてどう思ったか」や「熱心に桜の木を植え育てた先人をどう思うか」などを考えさせ、地域に詳しいゲストティーチャーの話を聞き、「ふるさとを大切にする」ということについて考えさせている。

これらの実践から考えたいことは、①子ども達が思考し新しい知識を獲得する内容になっていないのではないか。②資料を読めば、深く思考しなくても答えられる発問ではないか。③教師のねらう価値に向けて児童は誘導されていなか。本実践は、⑦生活にかかる費用とそれを得るために働く時間や日数を計算を通し児童が新たな認識をし、④そこから児童は「感謝」の気持ちを抱けるのかという組み立てになっている。

2. 授業の目標・内容と教材・WS

2-1. 授業の目標

本授業の教育目標は、授業内容を検討する中で、次のように設定した。

- ① 5年生1人あたりの生活費に関する計算をすることができ、最終的に95万円を稼ぐための働く時間数と日数を算出できる。
- ② その計算した数値を踏まえて、家族に対するどのような思いが生まれたのか、自分なりの言葉で表現することができる。

授業構想においては、内容項目ありきではなく、5年生1人当たりの生活費というデータを見つけて、それを分析することによって「感謝」という価値を教師自身が見出すことができた（＝教師自身の思考の展開）。それを基に発問や授業展開を考えたので、これまでの道徳の逆の方法で構想した授業と言える。

また、授業の中で教師が「感謝」という言葉を一切使わず、子どもから出てくるかを検証するため、内容項目の書いてある教科書教材を用いず黒板に主題（内容項目）を書くこともなく授業を行った。従来の読み物教材に出てくる登場人物の心情の読み取り中心の発問ではなく、児童が自分の1年間の生活費の計算を通して、課題を自分事として捉えられるように設計した。

2-2. 授業の内容と教材

授業内容の表①の通りである。

【表①】 授業内容

	【質問】（導入）①5年生1人あたりの1年間の生活費はどのくらいだと思うか。②朝起きてから学校に行くまで、どんなことにお金がかかっているか。
1	1年間の食費（約35万円）を計算し、それを稼ぐには、何時間かかるか、何日かかるかを計算する。
2	1年間の衣類雑貨費（約7万5千円）を稼ぐには、何時間かかるか、何日かかるかを計算する。
3	生活用品費（約8万円）を稼ぐには、何時間かかるか、何日かかるかを計算する。
4	その他にかかる金額（約44万5千円）を稼ぐには、何時間かかるか、何日かかるかを計算する。
5	1-4の金額（計約95万）、時間・日数の合計を出し、その数字を見てどんなことを感じるか発表する。
6	瓶に入った100万円（100円玉1万枚）を持って、感想を言う。
7	学習感想を発表する。

以上表①の食費等の金額は、5年生1人あたりの1年間にかかる費用の平均である。これは、内閣政策統括官（共生社会政策担当）「インターネットによる子育て費用に関する調査報告書」を典拠としている。この数値の中で学校教育費については、授業対象の公立小学校5年生に合わせて、国立・私立学校の入学初期費用・授業料・寄付金・通学交通費は除き、学校給食費は食費の中に含め、約5万5千円に修正した。

この授業内容のために、内容構想に先立って指導教官より提案があった一斗瓶に100円玉1万枚を入れた100万円を教材（下写真）として用意した。100万円の重さは48kgで瓶の重さを含めるとおよそ50kgになる。1年間の生活費に約100万円がかかるということを知り、それを得るために働く時間・日数を計算してから、初めて実物を見たり持ったりする。そのことで、自分の1年間の生活にかかるお金の量や重みを実感できると考えた。

【教材】100万円（100円玉1万枚）



2-3. ワークシート（WS）

授業中に使用したWSが表②である。

【表②】 ワークシート（WS）

【※】 演習ワークシート（2010年11月12日）

【5】年【 】組 名前【 】

(1) 5年生1人あたりの1年間の食費:
・5年生1人あたりの1日の食費 = 900円
・1年間(365日)の食費を計算してみよう。

(2) 1年間の自分の生活にかかる費用を計算しよう。

	1人にかかる費用 (1年)	働く時間 (÷900円)	働く日数 (÷8時間)
①食費 (朝・昼・晩)	() 円	() 時間	() 日
②衣類雑貨費 (服・靴・カバンなど)	() 円	() 時間	() 日
③生活用品費 (ノート・鉛筆など)	() 円	() 時間	() 日
④その他			
医療費	2万円	④の合計	
学校の教育費	5万5000円		
お祝い事や行事関係	2万5000円		
将来のための貯金や保険	1万円		
レジャーや旅行	1万5000円	() 時間	() 日
⑤合計	() 円	() 時間	() 日

WS を使って、5 年生 1 人あたりの 1 日の食費をもとに 1 年間の食費を計算させたり、その金額を稼ぐために働く時間や日数を計算させたりする内容になっている。それを衣類雑貨費、生活用品費、その他にかかる金額でも繰り返し一つの表にまとめる。そして、計算して出た数字を一つ一つ足して、合計の金額・時間・日数を出させることで、生活費を得ることがどれだけ大変なのかを知ることができる。

3. 事前質問の内容・結果

授業内容（表①）と並行して事前・事後質問も検討した。その内容と結果が表③である。授業内容の問題 1・2・3 に対応させて事前質問では、①食費、②衣類雑貨費、③生活用品費それぞれの 1 年間の費用について、児童はどのくらいの金額とと思っているのかを調べた。

【表③】事前質問の内容と結果

1	みなさん（5 年生）の 1 年間の食費は、どのくらいかかっていると思いますか。ひとつ選んで、[] に○を書いて下さい。
	・[1 名] 5 万円 ・[2 名] 15 万円 ・[9 名] 25 万円 ・[14 名] 35 万円
2	みなさん（5 年生）の服・靴（くつ）・カバンなどの 1 年間の費用は、どのくらいかかっていると思いますか。ひとつ選んで、[] に○を書いて下さい。
	・[0 名] 1 万円 ・[5 名] 2 万 5 千円 ・[13 名] 5 万円 ・[8 名] 7 万 5 千円
3	みなさん（5 年生）の 1 年間の生活用品にかかる費用は、どのくらいだと思いますか。ひとつ選んで、[] に○を書いて下さい。
	・[1 名] 1 万円 ・[5 名] 3 万円 ・[13 名] 5 万円 ・[7 名] 8 万円
4	みなさんの生活費、 <u>以上の他に</u> どんなものやことにお金がかかっていますか。2 つ書いて下さい。（3 つでも可）
	・水道代(12 人) ・電気代(10 人) ・集金(5 人) ・習い事(4 人) ・ガス代(4 人) ・車にかかるお金(3 人) ・税金(2 人) ・ゲーム代(2 人) など
5	① みなさん（5 年生）1 人あたり、1 年間の生活にかかる費用は“全部で”，どのくらいかかっていると思いますか。ひとつ選んで、[] に○を書いて下さい。
	・[1 名] 25 万円 ・[15 名] 50 万円 ・[8 名] 75 万円 ・[2 名] 100 万以上
	② 上の金額をかせぐのに、 <u>だいたい</u> 【何日】くらい、かかると思いますか。
	・0～50 日(1 人) ・51～100 日(12 人) ・101～150 日(4 人) ・151～200 日(0 人) ・201～300 日(3 人) ・301～400 日(3 人) ・1000 日以上(3 人)
6	①【みなさんの食費】について、みなさんは、お家の人と話したことはありますか。

・[7 名] ある ・[19 名] ない
②【みなさんの食費は、1 年間で、どのくらいかかっているのか】について、みなさんは、お家の人と話したことはありますか。
・[1 名] ある ・[25 名] ない

質問 1 の食費ではクラスの半数以上が、質問 2・3 の衣類雑貨費と生活用品費では 20～30%が正しい予想をしていた。質問 5-①の 1 年間の生活費になると、7%しか正しい予想をしておらず、93%が実際の金額より低く自分の生活費を予想している。働くのにかかる日数は 15%が正しい予想をしている。質問 4 では水道代・電気代を多く挙げている。質問 6 から、家庭での食費や 1 年間の食費については、普段からあまり話題になっていないことがうかがえる。

4. 授業記録とその考察

ここでは授業内容（表①）の問題毎に授業記録を要約・提示して考察する。まず導入の質問（表①）①では、3 名の児童が 1 年間の生活費を 50 万から 90 万の幅で予想した。質問②では、「トイレに行く」、「水道代」、「電気」代、「ご飯を食べる」、「パン」等の発言があった。

4-1. 【問題 1】の授業記録と考察

【問題 1】（表①）の授業記録が記録 1 である（仕切りの点線は中略の意である）。ここでは問題毎に授業記録を提示して考察する。

(1) 問題 1-1 の授業記録とその考察

まず問題 1-1 の記録を見てみよう。

【記録 1①】：5 年生 1 人あたりの 1 年間の食費

（黒板）三つのセンテンスカード (SC) が並べて掲示されている。①食費（朝・昼・晩）、SC②衣類雑貨費（服・靴・カバンなど）、SC③生活用品費（ノート・鉛筆など）

【問題 1-1】5 年生 1 人あたり 1 年間の食費
T: 【発問 1】まず、① (SC①) の食費から考えていきましょう。
みんなの 1 年間の食費、いくらかかっていると思う？
C18: 30 万から 50 万くらいだと思う。
C10: 35 万から 60 万。
C23: 15 万円から 20 万。

(*) ここで WS (表②) 配布。「1 人あたり 1 日平均 960 円」の情報から 1 年間の食費を計算させる。
T: 【発問 2】日本の小学 5 年生 1 日の食費は 960 円だそうです。じゃあ、1 年間ではいくらになるでしょうか。式は？
C3: 960×365

T: 式をそこ (WS) に書いて電卓で答えを求めてください。
 C17: マジっすか! (金額にお驚いている様子)
 T: マジっすか! ? っていう反応だね。答え出た人?
 C8: 350400 円です。
 T: 【発問 3】 同じ人? 約 35 万, 食費だけで 35 万円かかっている。この 35 万っていう数字を見てどんなことを感じた?
 C6: 1 年間で結構使っているんだなって思ったし, それをお母さんたちが結構一生懸命働いているんだなって思った。
 C19: 1 年間に 35 万円とかそういうのをかけているのを知らなかったからびっくりした。
 T: ちなみにみんなは 5 年生になって, どれくらい身長が伸びたり体重が増えたりしたか覚えているかな? その増えた分が 35 万円ってことだね。(省略)

【発問 1】で児童は 1 年間の食費を 15 万から 60 万の幅で予想した後, 【発問 2】で 5 年生 1 人あたりの 1 日の食費の平均 960 円を手がかりに 1 年間の食費を計算し, 出てきた答えに C17 は「マジっすか! ?」と, 金額への驚きを示した。この驚きを C19 は【発問 3】で, ㊦35 万円の数値を出した“上で”, ㊦「びっくりした」と表現した。C6 は, ㊦35 万の金額を「結構使っているんだな」と述べた“上で”, ㊦「お母さんたちが結構一生懸命働いているんだなって思った」というように親への思いも発言している。これは, 「感謝」の言葉を用いてはいないが, 親への感謝を含むものと見ることができる。以上のように問題 1-1 の時点ではやくも, ㊦の認識 (自己の生活に関わる新たな事柄の認識) が㊦道徳的価値を導き出すという, 本授業が目指す道徳教育の姿を見て取れる。これは, 価値主導型の授業に代わるものである。

(2) 問題 1-2 の授業記録とその考察

次に問題 1-2 の記録を見てみよう。

【記録 1②】: 35 万円: 稼ぐのに何時間・何日かかるか

【問題 1-2】 35 万円: 稼ぐのに何時間・何日かかるか
 T: 【質問】 じゃあ, みんなが働いて 35 万円稼ぐとしたら何日くらいかかると思う?
 C05: 何か月でもいい? 4 か月。
 C11: 5 か月から 8 か月。
 T: 【発問 4】 (SC①を指して) この 35 万円を働いたら稼ぐのにどれくらい時間がかかるか考えていきたい, みんなが高校生になるとアルバイトができるようになります。高校生が 1 時間働いて 800 円。1 時間働いて 800 円。それが何時間で 35 万円になるでしょうか。式, 分かる人いるかな?
 C03: 800 円×□時間=350000 円 (T: 板書)
 T: 1 時間働くと 800 円もらえて, 何時間か分からないけど働くと 35 万になる。□を求めるには?
 C18: 350000÷800
 T: 350000÷800 をすると求められそうだね。計算してみよう。
 T: (小数点切り捨ての指示後) 答え出せた人?

C02: 437 時間です。
 C22: 約 437 時間。
 T: そうだね。約 437 時間働くと 35 万円。
 T: 【発問 5】 437 時間の数字を見てどんなことを感じる?
 C20: ものすごい時間がかかる。
 T: でも, 437 時間って言われてもよく分からないよね。(中略) 1 日に高校生は 437 時間も働いてはいけません。法律で最大 8 時間と決まっています。
 T: 【発問 6】 1 日に 8 時間働いたとして, 何日で 437 時間になるでしょうかね。
 C08: 割ればいい。
 T: ヒント。1 日 8 時間働けるんだよね。何日か働くと 437 時間になりました (板書: $8 \times \square = 437$ 時間)。
 T: 【発問 7】 じゃあ□を求めるには? (省略)
 T: 誰か式, 分かった人教えてくれる?
 C13: $437 \div 8$
 T: $437 \div 8$ で求められそうだね。計算をして下さい。
 T: 何日になったかな?
 C16: 54 日。
 T: ということで 54 日。1 か月より長い? 短い?
 C: 長い。
 T: 【発問 8】 1 か月以上, 休みなく 1 日 8 時間働き続けて, ようやくみんなの 1 年間の食費がもらえる。この 54 日っていう数字を見て, どんなことを感じますか?
 C07: 結構長い。

【質問】で, 児童は 1 年間の食費 35 万円を稼ぐにはどれくらいかかるかを 4 か月から 8 か月の幅で予想した後, 【発問 4】で, 35 万円を時給 800 円のアルバイトをするとしたら何時間かかるかを計算させた。 $350000 \div 800$ で, 437 時間働くと 1 年間の食費になると認識した。【発問 5】では, その数字に対して C20 は「ものすごい時間がかかる」と表現した。【発問 6】では, 労働基準法に則り 1 日 8 時間働いた場合, 何日かかるかを考えさせた。 $437 \div 8$ で 54 日かかることを認識し, 【発問 8】で C7 は, 「結構長い」と表現した。どちらの児童も, 事前質問の予想は正解していたが, 1 年間の食費を働く時間や日数に直したことで, 35 万円という金額の重みを実感したと考えられる。

4-2. 【問題 2】の授業記録と考察

【問題 2】(表①) の授業記録が次表である。

【記録 2】衣類雑貨費を稼ぐのに何時間・何日かかるか

【問題 2-1】 5 年生 1 年間の【②衣類雑貨費】の予想
 (2-1) 【75000 円: 5 年生 1 人あたりの 1 年間の衣類雑貨費】
 T: 【質問】 ②の【衣類雑貨費】服や靴やカバンなんかどれくらい使っていると思う?
 (中略)
 C15: だいたい 20 万円くらい。
 C26: えーと, 25 万円くらい。
 T: 食費より少し安いかなって予想したんだね。実はみんなの

1 年間の衣類雑貨費はこれだけかかっています。(黒板に
板書：75000 円)

【問題 2-2】75000 円：稼ぐのに何時間・何日かかるか

T：【発問 9】75000 円。自給 800 円のアルバイトをしたら、
何時間で 75000 円稼げるだろう。式はどうなる？

C21：75000÷800

T：何時間になりましたか？

C04：93 時間。

T：【発問 10】93 時間働くともみんなの 1 年間の着るものとか
そういうお金になる。何日で 93 時間？式はどうなる？

C08：93÷24

T：24？えーと 1 日に 8 時間しか働けないとするとどうなる？
1 日が 24 時間だと何日かを調べてくれたんだね。1 日 8 時
間しか働けないとすると？

C08：8 です。

T：93÷8 をすればいいんだね。答え教えてくれる？

C12：11 日になる。

【質問】で児童は衣類雑貨費を 20 万から 25 万
の幅で予想した。衣類雑貨費は，【発問 9】で 93
時間，【発問 10】で 11 日間働いて得られる金額で
あると認識した。

4-3. 【問題 3】の授業記録と考察

【問題 3】(表①) の授業記録が次表である。

【記録 3】生活用品費を稼ぐのに何時間・何日かかるか

(3-1) 【8 万円：5 年生の 1 年間の生活用品費】

T：【質問】次に③の生活用品費について考えていきたいと思
います。(ノート・鉛筆・おもちゃ・ゲーム・本等の値段
も含むことを説明) 1 年にいくらくらいだと思いますか。

C01：5 万円から 10 万円。

C24：30 から 50 (万円)。

T：みんなの生活用品費は、平均 8 万円がかっているそうです。
(中略) シートにも 80000 と書きましょう。

(3-2) 計算【80000 円：稼ぐのに何時間・何日かかるか

T：【発問 11】じゃあ、80000 円。みんなの生活用品費 1 年
分を稼ぐのに時給 800 円のアルバイトを何時間しなけ
ればいけない？式はどうなる？

C19：80000÷800

T：80000÷800 だね。じゃあ計算してみましょう。

C17：うおー。

C08：分かっちゃった。こんなに簡単なんだ。

T：計算した結果を発表してください。

C10：100 時間。

T：【発問 12】100 時間って 1 日に 8 時間働いたとすると何
日ですか？式はどうなる？

C18：12 日。

T：式はどうなる？

C18：式は 100÷8

T：はい。ということでみんなの生活用品費をもらうためには
12 日間働かなければいけないということです。

..... (中略)

【質問】で児童は，生活用品費を 5 万円から 50
万円の幅で予想した。生活用品費を得るためには，
【発問 11】で 100 時間，【発問 12】で 12 日かか

ることを認識した。この際，100 時間という答え
を出した C17 は，「うおー」とかかる時間に驚き
を示した。

4-4. 【問題 4】の授業記録と考察

【問題 4】(表①) の授業記録が次表である。

【記録 4】その他を稼ぐのに何時間・何日かかるか

T：(黒板 WS を指して) では前の WS を見て下さい。④のそ
の他ってあるよね。(医療費・学校教育費・学校外教育費・
貯金・保険・レジャー・旅行費の説明をした後)。このそ
の他をまとめると，書いてください。445000 円です。

(4) 計算【445000 円：稼ぐのに何時間・何日かかるか】

T：【発問 13】445000 円を稼ぐためには何時間働けばいいの
かな？計算してみてください。

C06：こんなに働くんだ。

T：この④を稼ぐために働く時間ってどうなった？式は？

C25：445000÷800

T：そうすると答えは？

C17：556 時間。

T：【発問 14】④を稼ぐためには 556 時間かかる。じゃあ，そ
れは何日で 556 時間になる？

C22：こんなににかかるんだ。

C22：これはやばい。

T：式，言ってくれる？

C14：556÷8

T：556÷8 だね。答えはどうなった？

C14：約 69 日。

T：はい。約 69 日。

児童は，その他にかかる金額 445000 円を得る
ためには，【発問 13】で 556 時間，【発問 14】で
69 日間働くことを認識した。その事実を知り，児
童は「こんなに働くんだ」，「こんなににかかるんだ」，
「これはやばい」と驚き示した。

4-5. 【問題 5】の授業記録と考察

【問題 5】(表①) の授業記録が次表である。

【記録 5】5 年生 1 年間の生活費の総額の計算

(5-1) 計算【950000 円を稼ぐのに何時間・何日かかるか】

T：【発問 15】ということで WS の上の段が全部埋まったね。
いよいよ合計を出してみてください。

C：(WS の合計欄を計算)

・WS「生活費の合計」950000 円

・WS「働く時間」①+②+③+④ = 1186 時間

・WS「働く日数」①+②+③+④ = 146 時間

C：こんなに，やばい (C5)。うっそー (C8)。マジか (C22)。

T：合計いくらになった？

C02：950400 円。

T：【発問 16】ここ 35 万でやった人は 95 万円になるね。合計
すると 95 万円。じゃあ，働く時間も一つ一つ出したの
で，これも合計してみましょう。95 万円をもらうためには
何時間働かなければいけない？

C08：えっ。やばいよ、これ。
C22：こんなにかかるのか。
C08：やばい。
C08：1000（時間）もいってる。
T：計算できた？何時間ですか？
C17：働く時間の合計は1186時間。
T：【発問 17】1186時間。日数に直すと何日になるかな？
C05：えっと、146。
T：はい。146日働くってことだね。
T：【発問 18】146日ってことは約何か月？1か月が約30日。146日って約何か月？
C22：4か月・・・4か月26日。
T：【発問 19】約5か月間。ということでみんなの1年間の生活にかかるお金をもらうには、1186時間、146日。なんと5か月間休みなく毎日働いてこのお金になるんだね。95万っていう数字を働く時間や日数に直して見て、どんなことを感じたかな？（省略）
C06：えーと、まあ僕たちのために、こういう大きい時間かけてやってくれてるから、すごい感謝っていうか。
T：時間をかけてくれていることに感謝？誰に対して？
C06：お母さんとお父さん。
T：お母さんやお父さんに感謝したいって思ったんだね。
C13：えっと、ずっと146日間ずっと働いて自分の生活費ができるってすごいと思う。
T：すごいことだよな。
C03：95万1か月で全部貯まるわけじゃないから、20万くらいずつ1か月2か月くらい全部ためて、いろいろ家計のことを考えてくれるお母さんとお父さんに感謝したい。
T：そっか。
C08：お父さんとかお母さんとか、1186時間とか時間をかけて働いているんなものを買ってくれてありがたいと思いました。
T：お父さん・お母さんも欲しいものあるけど、みんなのために買ってくれているんだね。
C20：お父さんとお母さんがすごい時間をかけてくれている金額なんだなって思った。
T：すごい時間のかかっているお金だね。初めて知ったと思います。じゃあ、95万円っていうお金の重み感じたかな？感じた人手を挙げてくれる？
C：（半分以上挙手）
T：こんなに少ないんだって思った人？
C：（誰も挙手せず）
T：大きいお金だって思ったかな。はい。では95万円って約100万円だよな。
・・・・・・・・・・（中略）・・・・・・・・・・
T：本物を見たことある人？
C：（1人挙手）
T：1人。じゃあ、持ったとか触ったことがある人？
C：（なし）
T：それはいない。
C17：触りたい。
（5・2）100万円を持って感想を言う
T：触りたいよね。今日は特別に先生が用意しました。（100万円の教材を持って登場）
C：うえー……。
・・・・・・・・・・（中略）・・・・・・・・・・
T：【発問 20】じゃあ、これ持ってみたい人いるかな？（中略）ここに1列に並んで1人ずつ触ったり、持ったりして感感をどんどん言ってくてください。
C05：感想はね、重い。
C17：（手が）痛い。
T：前の人と別のことを言ってね。
C06：硬い。
C03：いろんな意味で重い。

T：【発問 21】これって何時間働いた重さ？
C05：1日。
T：1日？
C：（笑）
C：1186時間（C24）。きつい（C22）。
T：【発問 22】これは何時間分の重さ。
C24：146？
T：146日って何時間分の重さ？
C24：1186時間。
T：そうだね。感想は？
C：意外と重い（C20）。やばい。持てない（C16）。無理（C25）。先生のあの机よりすごい重い（C19）。妹より重い（C14）。
・・・・・・・・・・（中略）・・・・・・・・・・

これまで問題 1-4 で計算してきた数字を足して合計を出した。【発問 15】で生活費の合計 95 万を認識した C5「こんなに」、C8「うっそー」、C5「やばい」、C22「マジか」と驚きを示した。【発問 16】でそれを稼ぐために働く時間 1186 時間を認識した際には、C8「やばいよ、これ」、C22「こんなにかかるのか」、C8「やばい」、C8「1000（時間）もいってる」と驚きを示した。【発問 17】で1年間の生活費を稼ぐには 148 日間（約 5 か月）働かなければならないことを認識し、【発問 19】でこれまでの計算をし、出てきた数字を見てどんなことを感じるか聞いた。C6「大きい時間かけてやってくれてくれるから、すごい感謝」、C13「ずっと 146 日間ずっと働いて自分の生活費ができるってすごい」、C3「（生活にかかるお金を）全部ためて、いろいろ家計のことを考えてくれるお母さんとお父さんに感謝したい」、C8「お父さんとかお母さんとか、1186 時間とか時間をかけて働いているんなものを買ってくれてありがたい」、C20「お父さんとお母さんがすごい時間をかけてくれている金額」などと表現した。C6・C3の発言には「感謝」の言葉が、C8は「ありがたい」、C20は「すごい時間をかけてくれている」という「感謝の意味を含む言葉」が見られた。C13は、生活費は親が 146 日間働いて得られることに対して「すごい」と表現している。以上のように⑦の認識（自己の生活に関わる新たな事柄の認識）が④道徳的価値を導き出すという、本授業が目指す道徳教育の姿を見て取れる。これは、価値主導型の授業に代わるものである。

【発問 20】では、100 万円の教材を持って、C5「重い」、C3「いろんな意味で重い」、C20「意外

と重い」、C16「やばい。持てない」、C25「無理」などと表現した。実物は持ち上がらないくらいの重さであることを体感させた上で、【発問 21】・【発問 22】の「これは何日分の重さ?」「何時間分の重さ?」と聞いたことで、自分の1年間の生活費の重みを実感させることができた。

5. 事後質問の内容・結果（児童数 26 名）

ここでは事後質問を分析して、㊦自分の生活に関する新たな認識が㊦道徳的価値の気付きにつながっているかを考察する。5 年生 1 人あたりの 1 年間の生活費 122 万円という数字に「どう感じましたか」という質問 1 に 25 名が「想像した以上に大きな金額だった」、1 名が「想像したくらいの金額だった」を選択した。

質問 2-4 の内容と結果を、数名の回答を選んで提示する。実下線は㊦と判断できる、点下線は㊦と判断できる記述である。なお 1 年間の食費等の計算ができたかが質問 2-5 の考察の前に確認されなければならない。WS（表②）は 26 名中 26 名が計算結果を全て記入していた。

表 4：事後質問 2-5 の内容と回答例

2	1 人あたりの 1 年間の生活費をかせぐのに、何時間かかるか・何日かかるか、計算してきました。この計算をして、どんなことを考えたり、感じたりしましたか。
	C4：お母さん・お父さんは <u>たくさん</u> の時間を <u>ついでして「費やして」</u> たくさんのお金をもらい、何か買ってもらう時には「 <u>ありがとう</u> 」とかの <u>感謝の言葉</u> を言ったりして <u>よくもお金</u> の計算や赤字が出ないようにお母さん・お父さんを手伝って <u>支えていき</u> たいと <u>ぼくは</u> 思いました。これから <u>がんばって支</u> えていきたいです。
	C6：計算をしてお母さんたちは、 <u>がんばって</u> ぼくたちのことをしているので <u>感謝</u> でいっぱいです。
	C5：やっぱ何時間・何日と計算すると、 <u>すごくやばい数</u> が出てきて <u>すごい</u> と思いました。
	C12：計算してみたら思ったより高かったの、お父さんやお母さんはいつも <u>がんばって働</u> いているんだなあと思いました。
	C19：お母さんとお父さんが私達のことを考えて <u>辛くても</u> がんばっていることに「 <u>ありがとう</u> 」と <u>言</u> いたいと <u>感じ</u> ました。
	C20：本当に <u>お父さんやお母さんにかん</u> しゃしないといけな <u>い</u> と思っ
3	100 万円のピンを自分の手でかかえてみて、どんなことを考えたり、感じたりしましたか。

	C19：こんな大きな金額がかかっていてビックリしたし、もしお母さんやお父さんがおばあちゃんおじいちゃんになって病気にかったとき仕事をたくさんして、 <u>感謝の気持ちを伝えたい</u> と <u>感じ</u> ました。
4	今日の【100 万円】の勉強、家に帰ったら、どんな話を、お家の人としたいですか。 C5：「今日 100 万円もった」と言う。 <u>ありがとう</u> と <u>言</u> う。 C12：学んだことを話して、 <u>「ありがとう」</u> と <u>伝</u> えたい。 C20：100 万は平均だから、実際に何万円かかっているのかききたい。それと今回の授業のことも話したい。
5	今日の授業で【学んだこと】【感想】を、何でも自由に書いて下さい。

第一に、C4・C6 のように質問 2 において㊦と㊦両方の記述があつたのは【8 名】(C2,4,6,7,8,9,14,22)、第二に、C5・12 のように質問 2 で㊦の記述、質問 2-5 いずれかで㊦の記述があつたのは【10 名】(C5,11,12,13,15,16,18,23,24,25)、第三に、C19・20 のように質問 2 で㊦の記述、質問 2-5 いずれかで㊦の記述があつたのは【4 名】(C3,19,20,21)であつた。以上の結果は㊦自分の生活に関する新たな認識が㊦道徳的価値の気付きにつながっていることを示すものである。以上の 23 名以外の【4 名】(C1,10,17,26) の回答は次の表 5 である。

表 5：【4 名】(C1,10,17,26) の回答

C1	質問 5：お金をかせぐのは大変だと思つたし、 <u>もししょうらい一人暮らしをするのなら、この 122 万円をじぶんでかせがなければいけ</u> ないのかと思つた。
C10	質問 2：はたらくてたいへんだなと思つた。 質問 5：お金の大切さを知つた。
C17	質問 2：親達は、なぜ必死にお金をかせいで、自分達はこんなふつうな生活ができるのがよくよく理由が分かつたような気がします。 質問 4：100 万円をためるのって想像以上に大変だなあと思いました。
C26	質問 2：1 年間の食費でふだんなにげなく食べているけど <u>1 年たつとこんなにもなつたり</u> 、ほかに <u>も</u> 思つたいじょうでした。 質問 5：じゅくへ行くのもお金がかかっていてあんまり行きたくないと思つていたけど、 <u>自分も嫌がらないで</u> がんばる。

C1・26 の場合、㊦の生活認識（自己認識）が、㊦親への感謝というよりも、㊦責任（文科省

2017,p.165)という道徳的価値につながっていると思われる。C10の場合、⑦の食費等の計算から、④お金の大切さ(節度:文科省 2017,p.165)に、C17の場合、④働くことの大変さ(勤労:文科省 2017,p.168)という道徳的価値につながっている可能性があると思われる。

6. おわりにーこれまでの授業経験の省察ー

以上本稿では、価値主導型を改善する道徳教育内容の開発と実践について報告してきた。授業記録では、児童が食費・衣類雑貨費・生活用品費・その他にかかる費用を稼ぐのに何時間・何日かかるかを計算し、各項目の合計を計算する過程を報告した。その際、教師が「感謝」の言葉を一切使わなくても、児童の発言やWSから「感謝」の言葉を見て取れたことは、授業記録と考察・事後質問を通して報告した。

最後に、本研究のこの一年間の思考と実践を踏まえて、これまでの授業経験を省察する。

①教科書外の情報での教師自身の思考の展開:これまででは、指導書の中の情報のみを使って授業をしてきた。教材文をざっと読み、指導書の発問をそのまま使ったり、アレンジしたりして特に思考することなく授業を行っていた。しかし教科書の教材に思考できる部分がなければ、教科書に思考の種を見つけて、自分で見つけた情報から授業を構成することで、児童に思考させる発問が可能になるということを学んだ。

②価値演繹的な教材解釈:指導したい内容項目を指導書の中から探し、その価値に沿って指導書の発問例をもとに授業を組み立ててきた。その際、授業中に出される児童の指導書から外れた考えは切り捨ててきたように思う。しかし、教師が予め価値を提示しなくても、本授業のように内容を設計することで、児童が⑦認識したことから④価値を自ら発見することができるということを学んだ。

③新しい生活認識と振り返り:今回の実践では、教材研究から5年生1人あたりの生活費を知った。「自分の1年間の生活にいくらかかっているか」というこれまで考えてもみななかったことを計

算させたことで、児童は課題を自分事として捉え、集中して意欲的に計算する様子が見られた。もし、その生活費をクイズ形式で出したとしても、子ども達の心には響かなかっただろう。計算を通して新たな生活認識をした児童は、道徳的価値を見出すことができた。このような価値を前面に押し出さないかたちで、どうしたら子ども達に実感させられるかを思考し、発問を考えることがいかに大切であるか実感できた。

<引用・参考文献>

- ・赤堀博行(2017)「道徳科の内容に含まれる道徳的価値の考察:確かな指導観の確立のために(第10回)学校の道徳教育における道徳的価値の考え方(9)「尊敬」、「感謝」、「報恩」、「礼儀」『道徳と特別活動』文溪堂,pp.34-37.
- ・今井一也(2011)「道徳の時間における関連価値の取扱い方」—『尊敬・感謝』『家族愛』『郷土愛』を例に(特集「尊敬・感謝」「家族愛」「郷土愛」の指導法—道徳内容(vol.3)—『道徳と特別活動』文溪堂,pp.14-17.
- ・菊地圭子(2017)「自分を見つめ伸ばす」「よりよい学校生活と集団生活の充実をめざす」「感謝と思いやりの気持ちをもって」(平成28年度実践報告)『研究紀要/東京学芸大学附属竹早中学校』pp.73-81.
- ・鈴木愛沙(2014)「お世話になった方々に感謝の気持ちを伝える活動を通して、自分の行動や生活を見直す学習:6年「考えよう これからの生活」より」『家庭科』全国家庭科教育協会,pp.15-18.
- ・高木彩(2011)「4・(5)中学年における「郷土愛」の実践」(特集「尊敬・感謝」「家族愛」「郷土愛」の指導法—道徳内容(vol.3)—『道徳と特別活動』文溪堂,pp.27-29.
- ・内閣政策統括官(共生社会政策担当)(2010)「インターネットによる子育て費用に関する調査報告書」https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/research/cyouusa21/net_hiyo/pdf/gaiyou.pdf(2020.2.12閲覧)
- ・文部科学省(2017)『小学校学習指導要領(平成29年告示)』,東洋館出版社.
- ・梶原郁郎(2019.6.27)『「考える」道徳の授業づくり—内容・方法・評価をどう作るか—』長坂中学校道徳研修会資料.